

(5) ブドウ

主要病害虫別防除方法

農薬による防除については、栽培ステージ、病害虫の発生状況等に応じて、散布、灌注、土壌消毒などを行う。

なお、農薬による防除の際は、農薬登録内容や使用上の注意等を遵守して実施する。

(農林水産省農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>)

病害虫名 (病原体)	農薬によらない防除
べと病 (<i>Plasmopara</i>)	①新梢の病患部を早く取り除く。 ②落葉を放置せず、土中深く埋めるなどの処分をする。 【参考事項】 病原菌は落葉中の卵胞子で越冬する。 発病適温は 22～25℃である。 欧州系品種は弱く、 米国系品種は強い傾向がある。   写真1：葉の裏側 写真2：葉の表側
黒とう病 (<i>Elsinoë</i>)	①罹病枝及び巻ひげを除去し、剪定枝を適切に処分する。 ②徒長、晩期伸長しないよう施肥管理をする。 ③新梢、果実の病患部を早く取り除く。 ④できる限り被覆栽培を行う。 ⑤罹病苗を持込まないようにする。 【参考事項】 結果母枝や巻ひげの組織内に菌糸の形で越冬する。   写真1：被害葉 写真2：被害果
晩腐病 (<i>Glomerella</i>)	①罹病枝及び巻ひげを除去し、剪定枝を焼却等適切に処分する。 ②発病房は除去処分する。 ③密植園は間伐して通風を良くする。 ④袋かけは病原菌の果実への侵入を防止できるので、梅雨入り前に作業を完了する。 ⑤雨よけ栽培を導入する。 【参考事項】 結果母枝や巻ひげの組織内に菌糸の形で越冬する。春期に分生子を形成して伝染する。発病適温は 25～28℃である。
さび病 (<i>Physopella</i>)	①落葉を処分する。 ②冬の間に中耕する。 ③中間寄主のアワブキ属植物を伐採する。 【参考事項】 中間寄主のアワブキ属植物の葉上に形成されたさび胞子、ブドウ枝組織内で越冬して再形成された夏胞子で伝染する。巨峰、デラウェアに発生が多い。

病害虫名 (病原体)	農薬によらない防除
苦腐病 (<i>Greeneria</i>)	①剪定時に罹病つるを除去処分する。 ②密植園は間伐して通風を良くする。 【参考事項】 病原菌は巻ひげなどで越冬し、4～9月にかけて胞子を飛散させる。発病適温は20～30℃である。デラウェアに発生が多い。
房枯病 (<i>Botryosph-aeria</i>)	①剪定時に罹病つるを除去処分する。 ②密植園は間伐して通風を良くする。 ③排水不良園では排水に努める。 【参考事項】 病原菌の生態は苦腐病とほぼ同一である。発病適温は25～30℃である。
白腐病 (<i>Coniella</i>)	①剪定時に罹病つるを除去処分する。 ②密植園は間伐して通風を良くする。 ③排水不良園では排水に努める。 【参考事項】 病原菌の生態は苦腐病とほぼ同一である。発病適温は25～30℃である。
灰色かび病 (<i>Botrytis</i>)	①枝の過繁茂を避け通風を良くする。 ②発病果穂は見つけ次第取り除く。 【参考事項】 前年の被害残さ上で菌糸や菌核の形で越冬する。春に分生子を形成し、風や降雨によって飛散する。発病適温は15～23℃である。
褐斑病 (<i>Pseudoce-rcospora</i>)	①落葉を処分する。 ②樹体内栄養が不足すると発病が多いので、深耕をし、肥料を十分に施して樹勢を旺盛にする。 【参考事項】 結果母枝や幹の粗皮間隙、落葉上で越冬する。発病適温は20～25℃である。
チャノキイ ロアザミウ マ	①イヌマキなどの防風樹を手入れする。 ②不用な副梢は早めにせん除して処分する。 ③冬季に粗皮はぎを行う。 【参考事項】 粗皮下、落葉下、浅い土壤中に成虫又は蛹で越冬する。 年7～8回発生する。ほ場近くのチャイヌマキなどは寄主植物となる。 
	写真1：チャノキイロアザミウマ成虫
フタテンヒ メヨコバイ	①過繁茂を避け、通風と採光を良くする。 ②落葉などを処分し、園内の清掃に努める。 【参考事項】 樹皮の割れ目、落葉内、雑草中、家屋の軒下などに成虫で越冬する。年3回発生する。
クワコナカ イガラムシ	①越冬期に粗皮はぎを行う。 【参考事項】 卵のう内の卵塊で越冬、年2～3回発生する。
ブドウトラ カミキリ	①被害枝を健全部から切り取って処分する。 ②粗皮下の越冬幼虫を刃物で削りとり捕殺する。 【参考事項】 年1回発生する。3～5齢幼虫が結果母枝の樹皮下で越冬する。
コガネムシ 類	①成虫は柵をゆらすと落下するので、地面にビニルシートを敷き、集めて処分する。 ②下草の管理に努める。 【参考事項】 2～3齢幼虫が根や堆肥などを食べて越冬する。年1回発生する。
ブドウスカ シバ	①被害枝を切り取って処分する。 ②若い枝の被害を早く見つけて虫を捕殺する。 ③寄主植物であるエビヅル、ノブドウなどがほ場周辺にある場合には抜き取って処分する。 【参考事項】 老熟幼虫（枝内）で越冬する。年1回発生する。成虫は一見ハチに見える。
クビアカス カシバ	①虫ふんを目印に食入幼虫を探し、捕殺する。 【参考事項】 土壌（土壌表層）で越冬する。年1回発生する。成虫はスズメバチに擬態している
ハダニ類	①冬季の粗皮はぎを行う。 ②下草雑草の除去を行い、生息密度を下げる。